

たつの市定例記者会見資料	
発表年月日	令和 8 年 7 月 6 日（月）
担 当 課	教育事業部歴史文化財課
電 話	0791-75-5450

報道機関各位

埋蔵文化財センターロビー展 「収蔵庫の隠れたおたから」第 2 期を実施

市では、過去に出土した金属製品を多数収蔵していますが、これらは錆により脆くなっており、展示等の活用に供することが困難であるため、毎年計画的に錆止め、強化の保存処理を行うことで積極的な活用を図っています。

今回は、揖保川町所在の黍田 F 号墳から一括して出土した鉄鏃 14 点の保存処理完了のお披露目と、保存処理を通して新たに判明した知見を市民に広くお知らせすることを目的とし、埋蔵文化財センターロビーにて簡易な展示を行います。

記

- 1 展 示 名 称 「収蔵庫の隠れたおたから」第 2 期
—揖保川町黍田 F 号墳出土 鉄鏃—
- 2 開 催 場 所 たつの市立埋蔵文化財センターロビー
- 3 開 催 期 間 令和 8 年 7 月 11 日（土）～ 7 月 30 日（木）
（休館日 毎週火曜日）
- 4 展 示 内 容 揖保川町黍田 F 号墳出土鉄鏃 14 点
- 5 観 覧 料 無料
- 6 そ の 他 今年度のロビー展示は全 4 期に分けて実施します
残りの 2 期の内容は以下のとおりです。
第 3 期 榑神社裏山 2 号墳 赤色立体図
会 期 令和 8 年 8 月 1 日（土）～ 9 月 4 日（金）
第 4 期 御津町唐荷島採集 打製石剣
会 期 令和 8 年 9 月 5 日（土）～ 10 月 30 日（金）

ロビー展示 収蔵庫の隠れたおたから第2期 展示資料について

1. 展示資料の概要

揖保川町に所在した黍田F号墳から一括して出土した鉄鏃14点。時期は、古墳時代中期半ば（今から約1550年前）である。

黍田F号墳は、一辺10m程度の小規模な方墳ながら、朝鮮半島系の珍しい農具であるサルポ（昨年度ロビー展示にて展示）をはじめ、多数の副葬品を有する古墳である。たつの市揖保川町黍田と原の両地区、現在の神戸小学校の北側に位置していたが、発掘調査後、道路工事で消滅した。

2. 来歴

1990年代に道路工事に伴い断続的に行われた黍田古墳群発掘調査により、平成8（1996）年に黍田F号墳から出土した。遺跡から出土した鉄製品は脆く、そのままでは展示等が難しいことから、長らく収蔵庫に保管されていたが、令和7年度に錆止め、補強の保存処理を行い、展示が可能となった。

3. 本資料選定の理由ならびに資料の評価

保存処理及びそれに伴うX線写真撮影の結果、細部の形状が判明し、全体が細長い「長頸鏃」と称される鏃が日本列島で初めて出現するころのものであることが判明した。黍田F号墳の時期を考えるうえで定点となる資料である。

出土状況から、14点の鉄鏃は矢盛具（矢を入れる容器）に束ねて入れられていたと考えられる。保存処理と並行して行われた歴史文化財課による調査の結果、14点の鉄鏃のうち、少なくとも13点は一括して製作され、矢盛具に入れられて流通し、副葬された可能性が高いことが判明した。

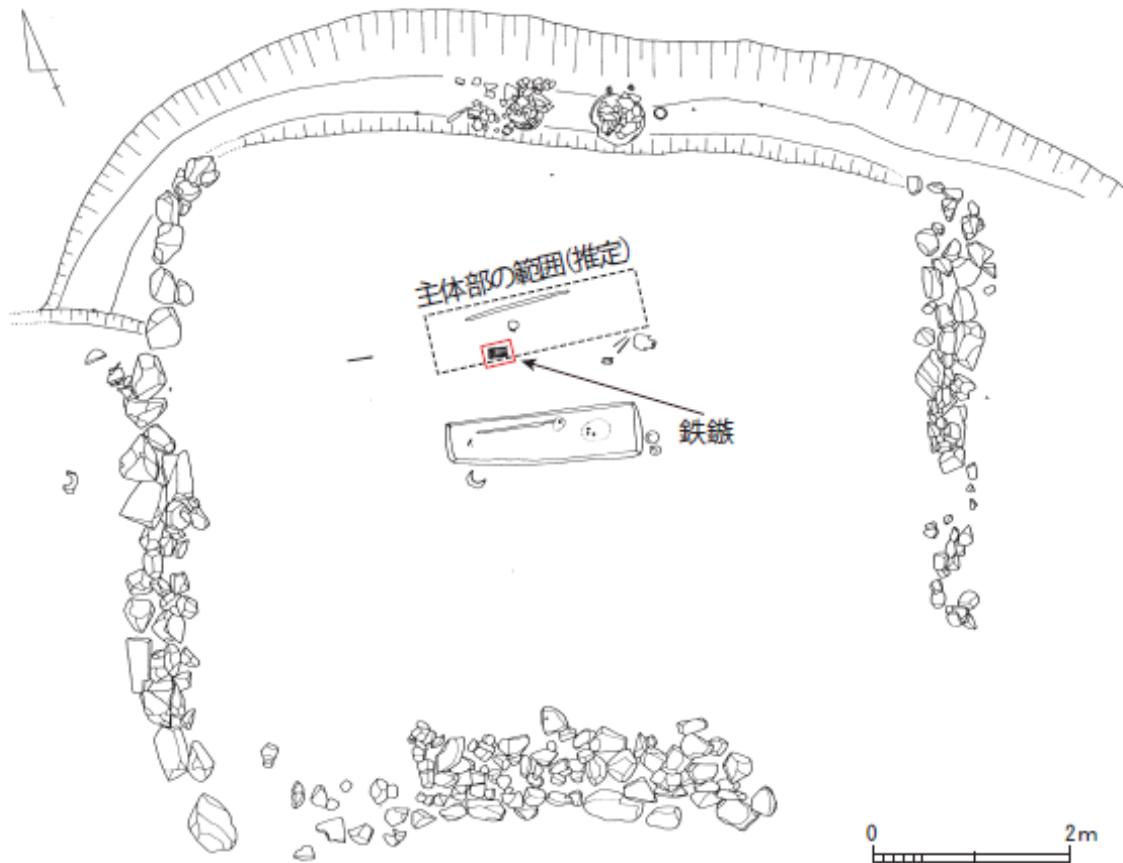
このように、古墳の時期を示す物差しとしての役割のみならず、古墳時代における鉄鏃の生産や流通状況を示すうえでも、重要な資料である。



黍田 F 号墳出土鉄鏃



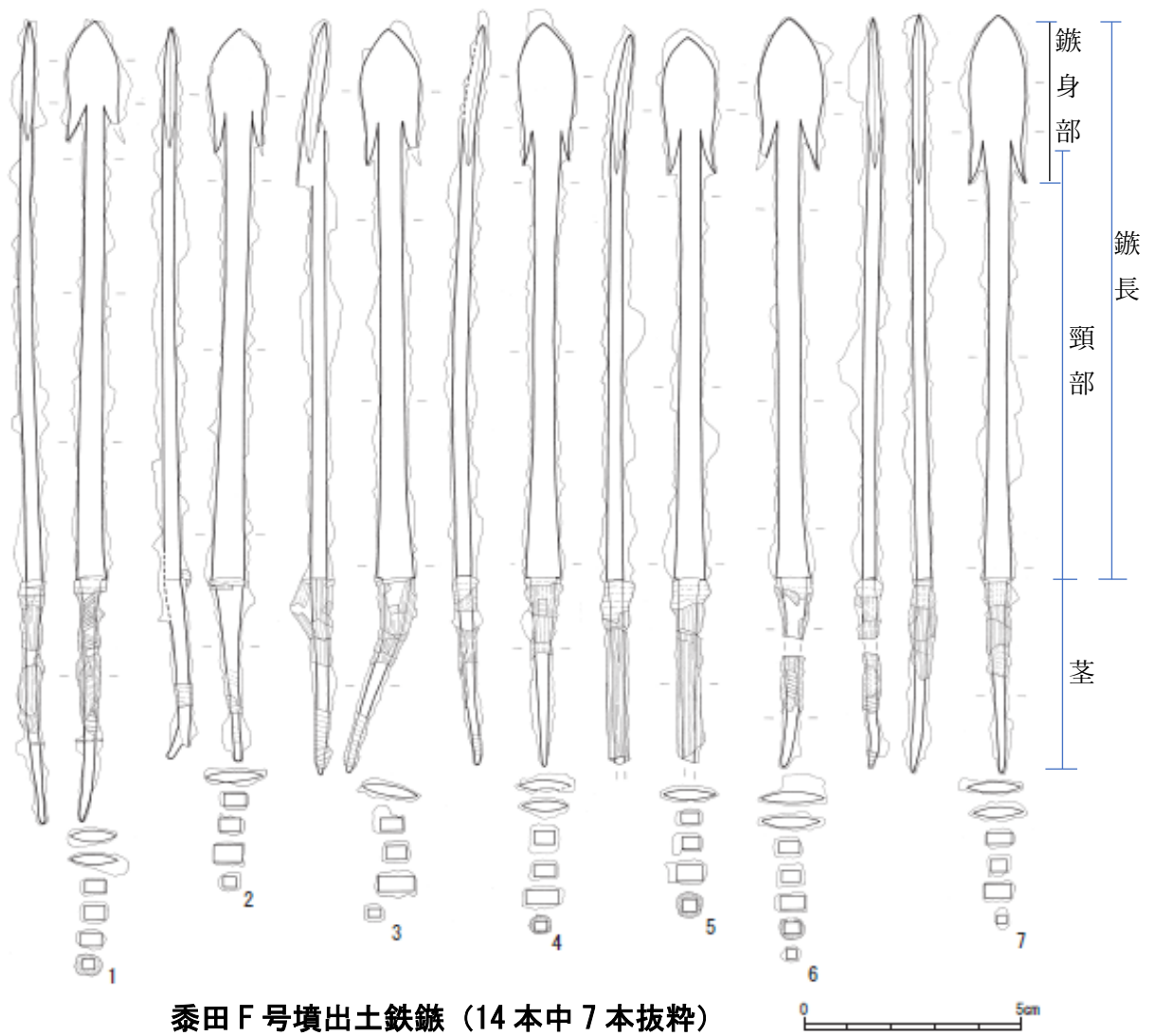
黍田 F 号墳の位置



黍田 F 号墳墳丘平面図



発掘現場風景（北東から）※手前須恵器は補修済



黍田 F 号墳出土鉄鏃（14 本中 7 本抜粋）



黍田 F 号墳出土サルポ（令和 7 年 10 月展示資料）

令和8年度たつの市立埋蔵文化財センターロビー展 第2期

収蔵庫の隠れたおたから

当センターが保管している考古資料のうち、学芸員イチ押しの1点を
選びました！

2026.7/11(土)▶7/30(木)

会場:たつの市立埋蔵文化財センター ロビー


やじり作りの謎にせまる！



泰田F号墳出土鉄鏃 14点

【お問い合わせ】

たつの市立埋蔵文化財センター

〒679-4392 兵庫県たつの市新宮町宮内 16

Tel:0791-75-5450

開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)

休館日 毎週火曜日

入館料 無料



※播磨科学公園都市圏域定住自立圏構想にかかる事業を利用して実施しています。

